

Festikap Sprint シリーズ第4戦

スーパーSSクラス (参加11台)

Festika Circuit

フレーム : TONY RACER EVX(08)

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリヂストン SL07 SL94(レイン)

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 立木 保(チーム エッフェガーラ)



◆ 今大会に向けて

今回は夏場の炎天下のレースを予想し、体力的にも不安もあったので、土曜レースと前の週の土、日を走りこんで暑さ対策をしてのレースウィーク突入！

前日練習ではこのところタイムが伸び悩んでいた不安が的中・・・。
なにをやってもタイムが揃わず、はまり状態と化す。気合でカバーせねば！と走って鴨しーをつとしフェアリングを壊す羽目に・・・。
監督からいつもの走りとの違いを指摘され4年目のフレームの限界と判断し、当日フレームチェンジを決断する。

◆ レースレポート

公式練習：久しぶりに乗るフレームなので慣れる事を重点にコースイン。まずまずの4番手タイムで、体力温存もあり途中終了。

前回**公式番長の汚名返上の鴨しー**は今日も絶好調の様子。今度こそ二人初表彰台の予感・・・。

タイムトライアル：マシンにも慣れタモさんの気合の押しがけでTTに挑む、充分前を空けてアタックに突入したが、おいしい所で前に引っかけ三番手タイムで伸び悩む。後ろには鴨しー・・・。一周捨て最終ラップに鴨しーの**スーパースリップ**を使い逆転ポールを狙って後ろに付くが完璧とまでは行かずコンマ1までは上がらず、そのままの3位で終了

予選ヒート：TTからマシンもエンジンも良い感じになって来たので、トレッドを多少いじった程度で臨む、スタートはうまく行き、一か八か1コーナーでトップを狙うか？一瞬迷ったが、そのままの三番手でクリア。今日の迫選手は好調の様子なので後ろで様子を伺う。鴨しーの**ひとりパフォーマンス**？で路面にはブッシュが撒き散らされていたので無理せず決勝三番手グリッドを確保して予選終了。

決勝ヒート：マシンの調子はまずまずだったので予選からセッティングは変えずひたすら体力温存と集中力アップを心がけるが、路面温度は60度近くになり女子カート部どころではなく暑さでへろへろ状態でのローリングスタート・・・。前回は勝つ気満々で大失敗をしているので今回は自分の今の力を100%出し切る事を考えスタート！1コーナーで迫選手のインに顔を出す、何か仕でかす気満々のオーラむき出しの迫選手、このまま行ったら**六本木か！**と感じ無理するのを止めた直後2台が絡みいきなり目の前が開けた！！これはもしかして勝ちパターン？・・・途中後ろの鴨しーを確認、もしかして1-2かと二人必死で逃げる。暫くして後ろを確認するとなんと消えたはずの斉藤選手が鴨しーと入れ替わっている。最後詰められるが何とか逃げ切り今期初優勝のチェッカー。3位には鴨しーが入り10年越しの夢であった二人一緒に初表彰台をGET！！

◆ レース結果

TT 3位 (32.660)

予選 3位 (32.661)

決勝 1位 (32.664)

◆ シリーズランキング

2位 (43ポイント)

第4戦終了時点

◆ レースを終えて

前回のレースは前日番長で失敗。今回は前日**へたれ**で優勝と勝負の難しさを感じた一日でした。今回はエッフェガーラに移籍後初優勝でき、安堵の気持ちが先に立ちました。今回は運よく勝てましたが斉藤選手との力の差を感じたレースでした。次はパーフェクトウインを目指しタイムの底上げの練習を・・・！
前日監督にヒントをもらい思い切りフレームチェンジをし、開き直れたのも勝因の一つです。土、日、2日間監督に来てくれた加藤さん、益々メカの腕が上がったタモさん完璧なメカありがとうございました。応援に来てくれた方々に感謝の意を表して、レースレポートと致します。